

2024(令和6)年 根室市人口動態分析

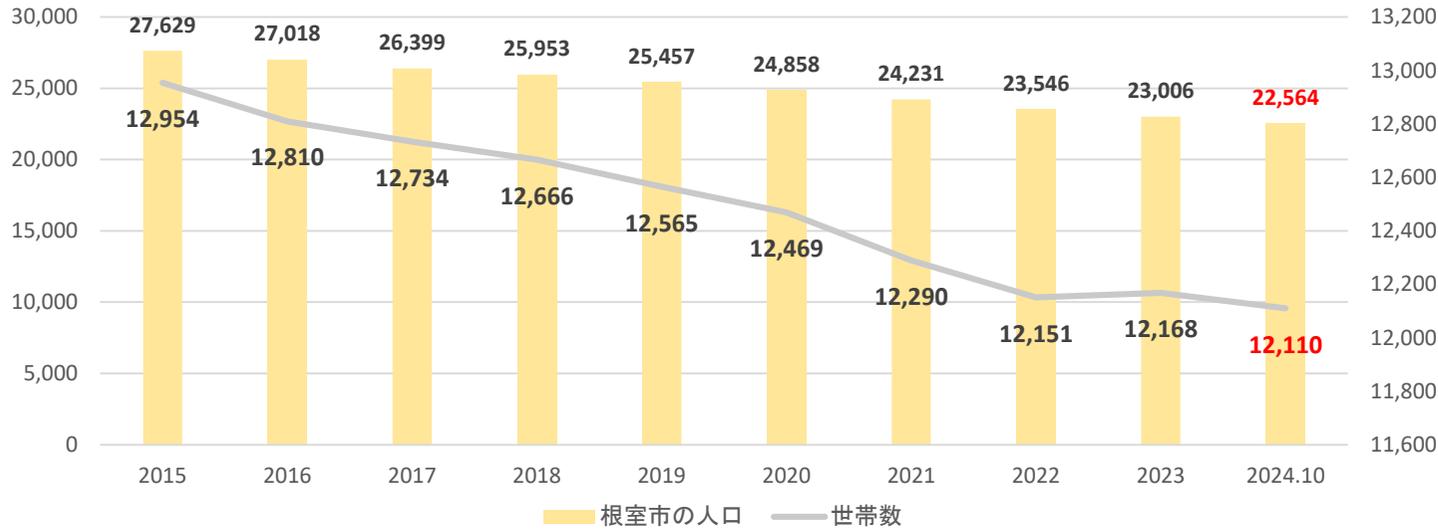
2024(令和6)年12月

総合政策部総合政策室

人口推移（人口・世帯数）

データ

根室市の人口と世帯数の推移



直近の人口推移（各年12月数値）

区分		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
男	日本人	13,167	12,849	12,590	12,363	12,102	11,775	11,525	11,165	10,864	10,574
	外国人	51	45	44	41	51	55	71	98	144	206
	小計	13,218	12,894	12,634	12,404	12,153	11,830	11,596	11,263	11,008	10,780
	前年比(%)	-	▲ 2.45	▲ 2.02	▲ 1.82	▲ 2.02	▲ 2.66	▲ 1.98	▲ 2.87	▲ 2.26	▲ 2.07
女	日本人	14,183	13,901	13,521	13,301	13,034	12,746	12,361	11,957	11,580	11,270
	外国人	228	223	244	248	270	282	274	326	418	514
	小計	14,411	14,124	13,765	13,549	13,304	13,028	12,635	12,283	11,998	11,784
	前年比(%)	-	▲ 1.99	▲ 2.54	▲ 1.57	▲ 1.81	▲ 2.07	▲ 3.02	▲ 2.79	▲ 2.32	▲ 1.78
合計	日本人	27,350	26,750	26,111	25,664	25,136	24,521	23,886	23,122	22,444	21,844
	外国人	279	268	288	289	321	337	345	424	562	720
	小計	27,629	27,018	26,399	25,953	25,457	24,858	24,231	23,546	23,006	22,564
	前年比(%)	-	▲ 2.21	▲ 2.29	▲ 1.69	▲ 1.91	▲ 2.35	▲ 2.52	▲ 2.83	▲ 2.29	▲ 1.92
外国人割合(%)		1.01	0.99	1.09	1.11	1.26	1.36	1.42	1.80	2.44	3.19

増減の推移

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
男	-	▲ 324	▲ 260	▲ 230	▲ 251	▲ 323	▲ 234	▲ 333	▲ 255	▲ 228
女	-	▲ 287	▲ 359	▲ 216	▲ 245	▲ 276	▲ 393	▲ 352	▲ 285	▲ 214
合計	-	▲ 611	▲ 619	▲ 446	▲ 496	▲ 599	▲ 627	▲ 685	▲ 540	▲ 442

資料：根室市住民基本台帳（市民課）

分析の視点

・根室市の人口と世帯数の推移を把握します。

（分析結果）

➤ 本年10月末時点の人口は22,564人となり、2015年と比較し5,065人と年平均562人減少しています。

➤ 2019年から人口減少が増加傾向にあります。

✓ 2019年 ▲496人 2019年対比
 2020年 ▲599人 103人
 2021年 ▲627人 131人
 2022年 ▲685人 189人
 2023年 ▲540人 44人

➤ 増減の推移は2021年から女性が上回っていますが、男女比率は2015年から男性が約47.8%、女性が約52.2%と横ばいが続いています。

（参考）

➤ 根室市の人口は、1966年（昭和41年）の49,896人をピークとして1974年から2023年まで49年連続で減少しています。

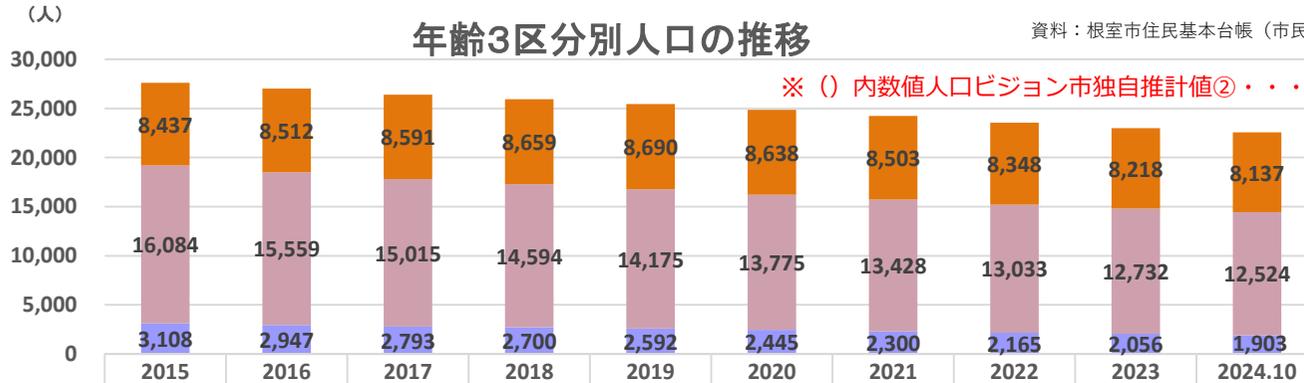
人口推移（年齢3区分別）

データ

年齢3区分別人口の推移

資料：根室市住民基本台帳（市民課）

※（）内数値人口ビジョン市独自推計値②・・・5年毎



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
■ 老年人口 (65歳以上)	8,437	8,512	8,591	8,659	8,690	8,638 (8,418)	8,503	8,348	8,218	8,137
■ 生産年齢人口 (15~64歳)	16,084	15,559	15,015	14,594	14,175	13,775 (13,664)	13,428	13,033	12,732	12,524
■ 年少人口 (0~14歳)	3,108	2,947	2,793	2,700	2,592	2,445 (2,598)	2,300	2,165	2,056	1,903

【年齢3区分別人口（男性）】

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
年少人口 (0~14歳)	1,619	1,540	1,461	1,391	1,330	1,249	1,174	1,109	1,046	960
前年比(%)	-	▲ 4.88	▲ 5.13	▲ 4.79	▲ 4.39	▲ 6.09	▲ 6.00	▲ 5.54	▲ 5.68	▲ 8.22
生産年齢人口 (15~64歳)	8,126	7,846	7,643	7,447	7,240	7,034	6,916	6,730	6,584	6,465
前年比(%)	-	▲ 3.45	▲ 2.59	▲ 2.56	▲ 2.78	▲ 2.85	▲ 1.68	▲ 2.69	▲ 2.17	▲ 1.81
老年人口 (65歳以上)	3,473	3,508	3,530	3,566	3,583	3,547	3,506	3,424	3,378	3,355
前年比(%)	-	1.01	0.63	1.02	0.48	▲ 1.00	▲ 1.16	▲ 2.34	▲ 1.34	▲ 0.68
計	13,218	12,894	12,634	12,404	12,153	11,830	11,596	11,263	11,008	10,780
前年比(%)	-	▲ 2.45	▲ 2.02	▲ 1.82	▲ 2.02	▲ 2.66	▲ 1.98	▲ 2.87	▲ 2.26	▲ 2.07

【年齢3区分別人口（女性）】

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
年少人口 (0~14歳)	1,489	1,407	1,332	1,309	1,262	1,196	1,126	1,056	1,010	943
前年比(%)	-	▲ 5.51	▲ 5.33	▲ 1.73	▲ 3.59	▲ 5.23	▲ 5.85	▲ 6.22	▲ 4.36	▲ 6.63
生産年齢人口 (15~64歳)	7,958	7,713	7,372	7,147	6,935	6,741	6,512	6,303	6,148	6,059
前年比(%)	-	▲ 3.08	▲ 4.42	▲ 3.05	▲ 2.97	▲ 2.80	▲ 3.40	▲ 3.21	▲ 2.46	▲ 1.45
老年人口 (65歳以上)	4,964	5,004	5,061	5,093	5,107	5,091	4,997	4,924	4,840	4,782
前年比(%)	-	0.81	1.14	0.63	0.27	▲ 0.31	▲ 1.85	▲ 1.46	▲ 1.71	▲ 1.20
計	14,411	14,124	13,765	13,549	13,304	13,028	12,635	12,283	11,998	11,784
前年比(%)	-	▲ 1.99	▲ 2.54	▲ 1.57	▲ 1.81	▲ 2.07	▲ 3.02	▲ 2.79	▲ 2.32	▲ 1.78

分析の視点

・地域の働き手として区分される生産年齢人口と、被扶養者となる年少人口、老年人口の3区分に分けて人口の推移を分析することで、人口構造の変化の傾向を大まかに把握します。

(分析結果)

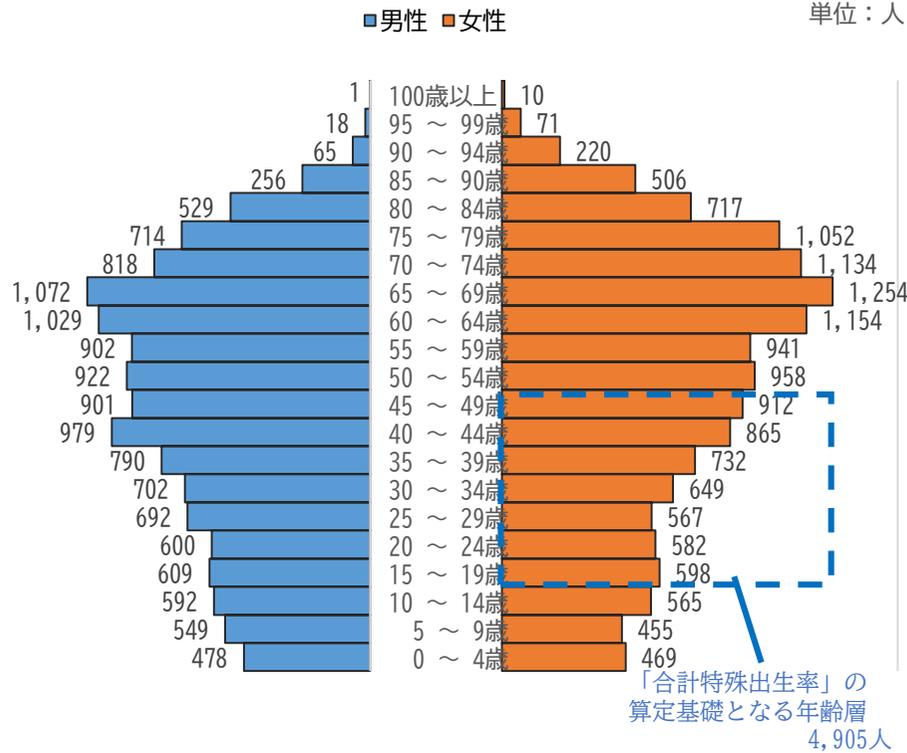
- 老年人口は2019年まで継続的に増加も、その後は減少傾向へ転じています。
- 生産年齢人口と年少人口は、老年人口の減少ペースを上回っているため、高齢化率が上昇しています。(2015年=30.5%、2024年=36.0%)
- 男女別の年齢3区分別人口において、特に生産年齢人口においては、2013年に男性数が女性数を上回って以降逆転し、さらに男女の人口差は年々拡大しています。
- 生産年齢人口及び老年人口は、人口ビジョン推計値と比べ、減少傾向が抑制されており、総人口に対しても同様です。

人口ビジョン2020 24,680人
2020年12末住民基本台帳 24,858人

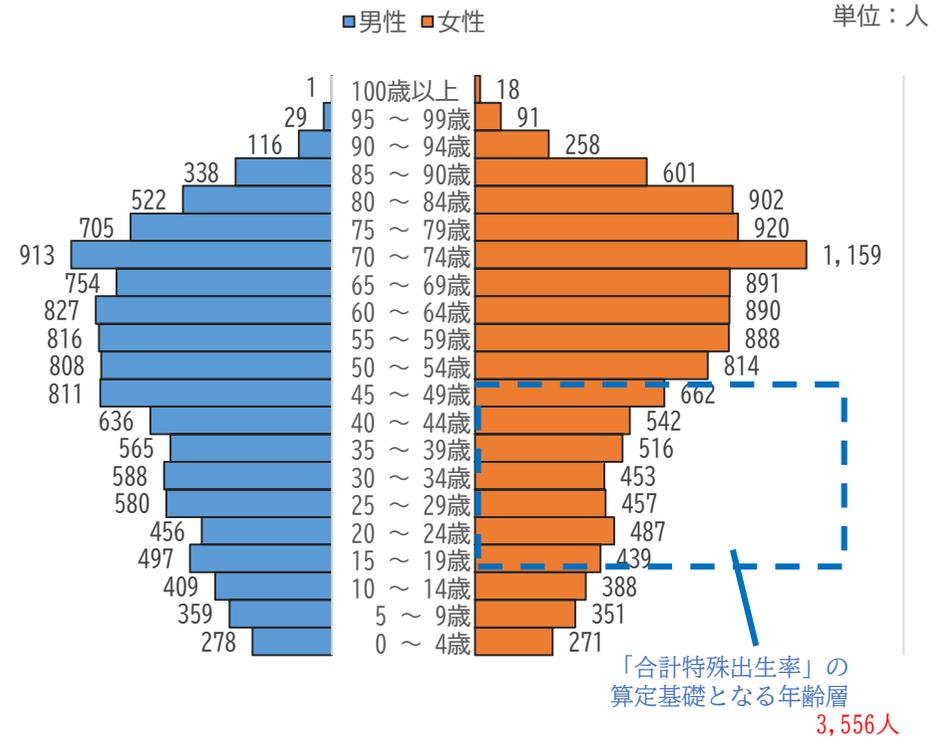
人口ピラミッド

データ

人口ピラミッド 根室市 2015年



人口ピラミッド 根室市 2023年



- 老年人口（65歳以上）：8,437人（30.5%）
- 生産年齢人口（15歳～64歳）：16,084人（58.2%）
- 年少人口（0歳～14歳）：3,108人（11.3%）

- 老年人口（65歳以上）：8,218人（35.7%）
- 生産年齢人口（15歳～64歳）：12,732人（55.3%）
- 年少人口（0歳～14歳）：2,056人（8.9%）

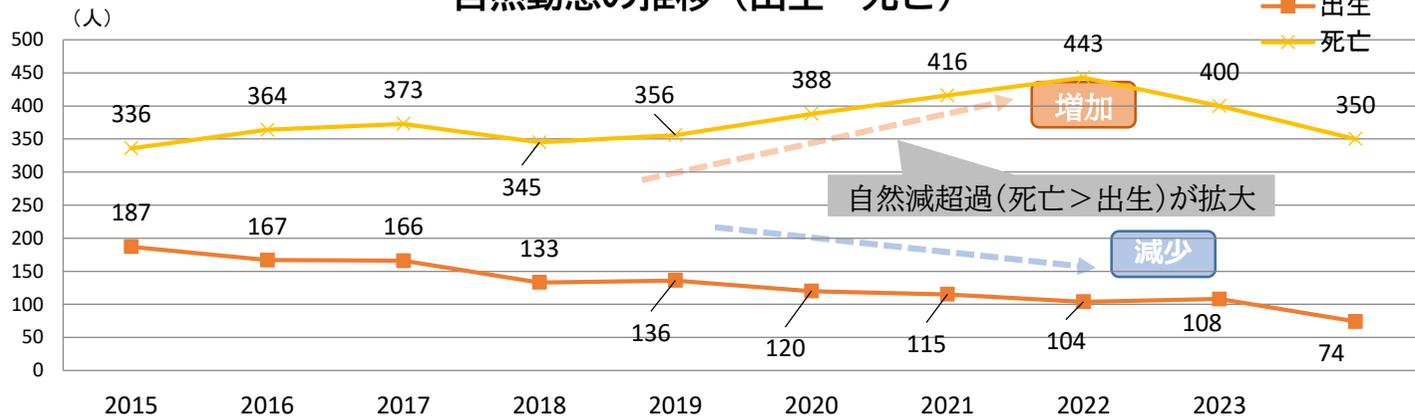
分析の視点

- 人口ピラミッドの形状は、少子高齢化の典型となる「つぼ型」が続いています。
- グラフ下部の年齢3区分の構成比においては、2015年→2023年にかけて老年人口が全人口の約3.1割→約3.6割へ増加し、生産年齢人口は約5.8割→約5.5割へ減少、年少人口は約1.1割→約0.9割へ減少。
- 合計特殊出生率※1の算定基礎となる年齢層の女性人口が大きく減少（1,349人減 27.5%減）しています。
※1 「合計特殊出生率」一人の女性が仮に一生の間に子どもを生むとしたときの子どもの数

人口増減（自然動態）

データ

自然動態の推移（出生・死亡）



自然増減(出生・死亡)

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
出生	187	167	166	133	136	120	115	104	108	74
前年比(%)	-	▲ 10.70	▲ 0.60	▲ 19.88	2.26	▲ 11.76	▲ 4.17	▲ 9.57	3.85	▲ 31.48
死亡	336	364	373	345	356	388	416	443	400	350
前年比(%)	-	8.33	2.47	▲ 7.51	3.19	8.99	7.22	6.49	▲ 9.71	▲ 12.50
差引	▲ 149	▲ 197	▲ 207	▲ 212	▲ 220	▲ 268	▲ 301	▲ 339	▲ 292	▲ 276

合計特殊出生率算定のもととなる女性数の推移

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	合計	前年比(%)
2015年	598	582	567	649	732	865	912	4,905	-
2016年	600	586	561	622	680	826	897	4,772	▲ 2.71
2017年	552	575	550	558	634	777	865	4,511	▲ 5.47
2018年	521	553	530	552	601	729	854	4,340	▲ 3.79
2019年	502	532	543	517	595	693	829	4,211	▲ 2.97
2020年	472	525	554	468	583	650	800	4,052	▲ 3.78
2021年	431	496	535	468	559	613	763	3,865	▲ 4.62
2022年	448	463	485	469	542	577	710	3,694	▲ 4.42
2023年	439	487	457	453	516	542	662	3,556	▲ 3.74
2024年10月	430	554	447	448	471	529	647	3,526	▲ 0.84

資料：根室市住民基本台帳（市民課）

分析の視点

- ・地域の人口の変動要因である自然増減と社会増減の数と変化を分析することで、地域の人口の変化が自然増減、社会増減のいずれの影響をより大きく受けてきたのか把握します。

（分析結果）

- 死亡数が出生数を上回る自然減は、年々その差が拡大しています。
- 自然減は、2017年以降200人台で推移し、2021年から300人前後で推移しています。
- 2023年は4年ぶりに出生数が前年を上回りました。

- ・根室市の合計特殊出生率の推移
2003-2007 1.61人
2008-2012 1.53人
2013-2017 1.67人
2018-2022 1.36人
- ・自然減が始まったのは2000年

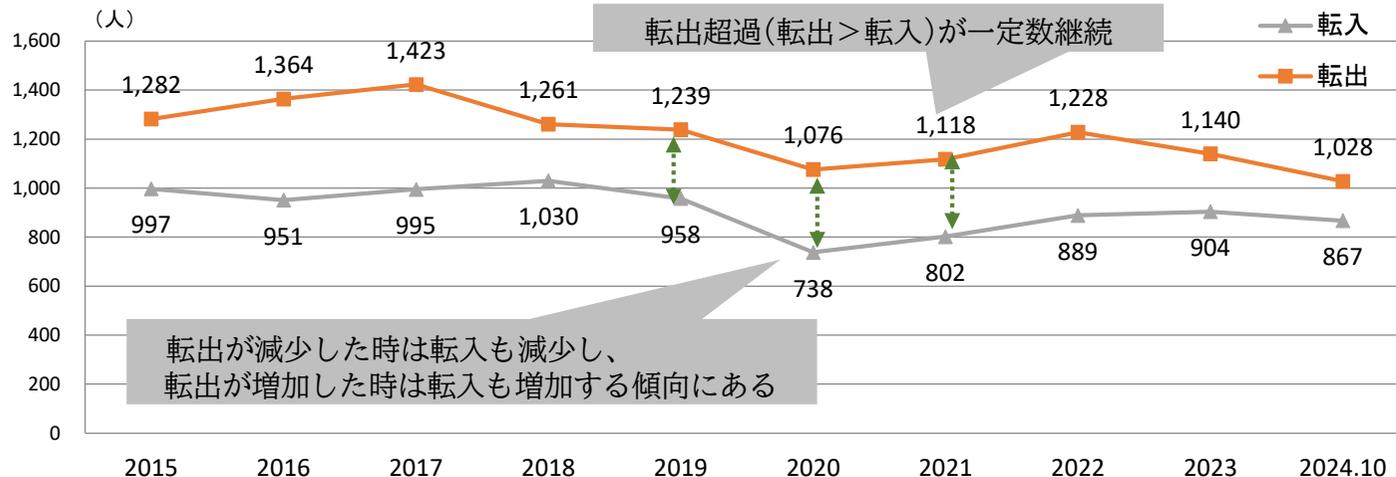
基礎知識

自然増減数：出生数から死亡数を減じた値を指します。出生数を死亡数が上回ることで、自然減となります。

人口増減（社会動態）

データ

社会動態の推移（転入・転出）



社会増減(転入・転出) ※全体

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
転入	997	951	995	1,030	958	738	802	889	904	867
前年比(%)	-	▲ 4.61	4.63	3.52	▲ 6.99	▲ 22.96	8.67	10.85	1.69	▲ 4.09
転出	1,282	1,364	1,423	1,261	1,239	1,076	1,118	1,228	1,140	1,028
前年比(%)	-	6.40	4.33	▲ 11.38	▲ 1.74	▲ 13.16	3.90	9.84	▲ 7.17	▲ 9.82
差引	▲ 285	▲ 413	▲ 428	▲ 231	▲ 281	▲ 338	▲ 316	▲ 339	▲ 236	▲ 161

(参考) うち外国人の移動届出数

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
入	201	189	242	227	301	82	117	233	310	299
出	175	189	213	219	267	60	103	143	160	134
差引	26	0	29	8	34	22	14	90	150	165

資料：根室市住民基本台帳（市民課）

分析の視点

- ・地域の人口の変動要因である自然増減と社会増減の数と変化を分析することで、地域の人口の変化が自然増減、社会増減のいずれの影響をより大きく受けてきたのか把握します。

(分析結果)

- 都市への人口流出で社会減が一定数で継続しています。
- 社会減については、2016年・2017年に400人超となって以降、2022年まで300人前後で推移しています。
- 総人口での転出超過は、2023年は前年と比較し改善しています。

基礎知識

社会増減数：住民の転入数から転出数を減じた値を指します。転入数を転出数が上回ることで、社会減となります。

人口増減（年齢3区分別分析）

データ(日本人移動者)

分析の視点

年齢3区分別転入者数の推移

資料：e-Stat

	転入（男）				転入（女）				転入（合計）			
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計
2015年	51	418	9	478	47	252	14	313	98	670	23	791
2016年	48	413	14	475	41	240	10	291	89	653	24	766
2017年	41	432	10	483	32	220	18	270	73	652	28	753
2018年	44	429	16	489	51	248	17	316	95	677	33	805
2019年	30	381	14	425	28	189	11	228	58	570	25	653
2020年	34	360	12	406	32	202	14	248	66	562	26	654
2021年	26	393	13	432	31	211	11	253	57	604	24	685
2022年	36	378	14	428	30	182	14	226	66	560	28	654
2023年	23	347	10	380	14	179	12	205	37	526	22	585

年齢3区分別転出者数の推移

	転出（男）				転出（女）				転出（合計）			
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	小計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	小計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計
2015年	71	521	23	615	57	366	49	472	128	887	72	1,087
2016年	82	562	37	681	51	355	65	471	133	917	102	1,152
2017年	89	511	24	624	96	418	51	565	185	929	75	1,189
2018年	60	517	27	604	51	327	55	433	111	844	82	1,037
2019年	54	484	25	563	48	304	46	398	102	788	71	961
2020年	62	499	20	581	58	314	48	420	120	813	68	1,001
2021年	39	479	40	558	66	333	58	457	105	812	98	1,015
2022年	60	520	40	620	53	342	65	460	113	862	105	1,080
2023年	44	481	34	559	47	315	55	417	91	796	89	976

年齢3区分別転出超過の推移

	転出超過（男）				転出超過（女）				転出超過（合計）			
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	小計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	小計	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計
2015年	▲ 20	▲ 103	▲ 14	▲ 137	▲ 10	▲ 114	▲ 35	▲ 159	▲ 30	▲ 217	▲ 49	▲ 296
2016年	▲ 34	▲ 149	▲ 23	▲ 206	▲ 10	▲ 115	▲ 55	▲ 180	▲ 44	▲ 264	▲ 78	▲ 386
2017年	▲ 48	▲ 79	▲ 14	▲ 141	▲ 64	▲ 198	▲ 33	▲ 295	▲ 112	▲ 277	▲ 47	▲ 436
2018年	▲ 16	▲ 88	▲ 11	▲ 115	0	▲ 79	▲ 38	▲ 117	▲ 16	▲ 167	▲ 49	▲ 232
2019年	▲ 24	▲ 103	▲ 11	▲ 138	▲ 20	▲ 115	▲ 35	▲ 170	▲ 44	▲ 218	▲ 46	▲ 308
2020年	▲ 28	▲ 139	▲ 8	▲ 175	▲ 26	▲ 112	▲ 34	▲ 172	▲ 54	▲ 251	▲ 42	▲ 347
2021年	▲ 13	▲ 86	▲ 27	▲ 126	▲ 35	▲ 122	▲ 47	▲ 204	▲ 48	▲ 208	▲ 74	▲ 330
2022年	▲ 24	▲ 142	▲ 26	▲ 192	▲ 23	▲ 160	▲ 51	▲ 234	▲ 47	▲ 302	▲ 77	▲ 426
2023年	▲ 21	▲ 134	▲ 24	▲ 179	▲ 33	▲ 136	▲ 43	▲ 212	▲ 54	▲ 270	▲ 67	▲ 391

・年齢3区分別の転入・転出者の推移より、どの区分で増減が大きいのかを把握します。

(分析結果)

- 2023年は、前年に比べ各年齢区分において転入者数が減少しています。
- また、転出者数も減少していることも合わせ、2023年の転出超過は前年と比べ91.8%となっています。
- 総括として、2023年は男女とも前年に比べ、転出超過が減少しています。

※用語説明

- ・年少人口 0～14歳
- ・生産年齢人口 15～64歳
- ・老年人口 65歳以上

基礎知識

・総務省「住民基本台帳人口移動報告(e-Stat)」には、外国人の転入・転出者のうち、国外⇄国内の移動者は含まないため、6～12ページの転入・転出者数と5ページの転入・転出者数とは一致しません。

人口増減（生産年齢人口分析）

データ(日本人のみ)

資料：e-Stat

転入（男）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
2015年	10	68	68	40	57	61	41	44	23	6	418
2016年	26	71	58	51	45	57	43	34	23	5	413
2017年	24	94	80	46	48	48	35	34	18	5	432
2018年	30	85	51	51	47	49	44	36	31	5	429
2019年	16	70	52	37	46	49	41	43	20	7	381
2020年	25	61	67	35	34	30	50	25	25	8	360
2021年	28	73	72	48	42	34	46	18	23	9	393
2022年	22	76	60	39	42	32	43	30	21	13	378
2023年	13	76	64	44	33	30	30	31	18	8	347

転入（女）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
2015年	14	44	47	42	40	27	11	13	8	6	252
2016年	9	50	49	38	32	26	12	11	9	4	240
2017年	11	52	41	29	22	28	13	11	10	3	220
2018年	10	45	43	43	33	20	23	18	7	6	248
2019年	8	39	39	28	24	18	12	13	6	2	189
2020年	17	42	53	18	22	14	20	7	5	4	202
2021年	10	50	44	29	23	19	17	11	3	5	211
2022年	9	35	38	21	28	14	12	11	11	3	182
2023年	3	47	38	16	19	8	21	13	8	6	179

転出（男）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
2015年	36	78	68	68	48	71	45	38	54	15	521
2016年	73	72	72	81	54	71	51	38	31	19	562
2017年	48	74	86	48	45	67	57	47	24	15	511
2018年	41	89	75	51	59	53	61	38	38	12	517
2019年	46	73	74	48	47	60	52	37	37	10	484
2020年	45	81	80	64	38	57	51	40	22	21	499
2021年	51	73	75	46	52	49	44	38	33	18	479
2022年	38	89	87	67	45	51	39	47	39	18	520
2023年	47	81	81	57	43	38	43	46	28	17	481

転出（女）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
2015年	43	77	53	48	35	35	29	16	13	17	366
2016年	39	61	51	54	45	45	26	11	10	13	355
2017年	55	77	73	62	38	39	36	10	16	12	418
2018年	47	67	46	32	34	40	26	18	8	9	327
2019年	43	57	47	28	30	36	18	22	15	8	304
2020年	45	68	47	37	24	34	21	16	13	9	314
2021年	27	87	52	42	40	29	20	17	9	10	333
2022年	29	73	66	47	37	23	20	17	14	16	342
2023年	33	74	54	43	19	24	26	18	16	8	315

転出超過（男）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
2015年	▲26	▲10	0	▲28	9	▲10	▲4	6	▲31	▲9	▲103
2016年	▲47	▲1	▲14	▲30	▲9	▲14	▲8	▲4	▲8	▲14	▲149
2017年	▲24	20	▲6	▲2	3	▲19	▲22	▲13	▲6	▲10	▲79
2018年	▲11	▲4	▲24	0	▲12	▲4	▲17	▲2	▲7	▲7	▲88
2019年	▲30	▲3	▲22	▲11	▲1	▲11	▲11	6	▲17	▲3	▲103
2020年	▲20	▲20	▲13	▲29	▲4	▲27	▲1	▲15	3	▲13	▲139
2021年	▲23	0	▲3	2	▲10	▲15	2	▲20	▲10	▲9	▲86
2022年	▲16	▲13	▲27	▲28	▲3	▲19	4	▲17	▲18	▲5	▲142
2023年	▲34	▲5	▲17	▲13	▲10	▲8	▲13	▲15	▲10	▲9	▲134

転出超過（女）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
2015年	▲29	▲33	▲6	▲6	5	▲8	▲18	▲3	▲5	▲11	▲114
2016年	▲30	▲11	▲2	▲16	▲13	▲19	▲14	0	▲1	▲9	▲115
2017年	▲44	▲25	▲32	▲33	▲16	▲11	▲23	1	▲6	▲9	▲198
2018年	▲37	▲22	▲3	11	▲1	▲20	▲3	0	▲1	▲3	▲79
2019年	▲35	▲18	▲8	0	▲6	▲18	▲6	▲9	▲9	▲6	▲115
2020年	▲28	▲26	6	▲19	▲2	▲20	▲1	▲9	▲8	▲5	▲112
2021年	▲17	▲37	▲8	▲13	▲17	▲10	▲3	▲6	▲6	▲5	▲122
2022年	▲20	▲38	▲28	▲26	▲9	▲9	▲8	▲6	▲3	▲13	▲160
2023年	▲30	▲27	▲16	▲27	0	▲16	▲5	▲5	▲8	▲2	▲136

・5歳階級別人口の転入・転出の推移を分析し、どの年齢層で増減が大きいのかを把握します。

(分析結果)

- 2023年は前年に比べ、男性の転入・転出者ともに減少し、転出超過は前年よりも減少しましたが、全ての年代において転入者が転出者を下回っています。
- 一方、女性についても、男性同様、転入・転出者ともに減少し、転出超過は前年よりも減少しています。
- また、2023年の女性の転出については、35歳～39歳の女性の転出者が前年よりも減少しています。

分析の視点

人口増減（年少人口における5歳階級別分析）

データ(日本人のみ)

分析の視点

転入（男）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2015年	31	12	8	51
2016年	29	12	7	48
2017年	21	10	10	41
2018年	33	9	2	44
2019年	14	8	8	30
2020年	15	9	10	34
2021年	12	10	4	26
2022年	21	13	2	36
2023年	13	5	5	23

転入（女）

資料：e-Stat

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2015年	26	16	5	47
2016年	22	13	6	41
2017年	16	9	7	32
2018年	31	19	1	51
2019年	21	5	2	28
2020年	19	10	3	32
2021年	22	5	4	31
2022年	15	12	3	30
2023年	9	5	0	14

転出（男）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2015年	35	22	14	71
2016年	37	28	17	82
2017年	48	25	16	89
2018年	30	16	14	60
2019年	31	12	11	54
2020年	30	18	14	62
2021年	21	14	4	39
2022年	24	26	10	60
2023年	23	11	10	44

転出（女）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2015年	27	15	15	57
2016年	25	12	14	51
2017年	50	27	19	96
2018年	22	18	11	51
2019年	22	18	8	48
2020年	21	26	11	58
2021年	31	21	14	66
2022年	19	22	12	53
2023年	19	19	9	47

転出超過（男）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2015年	▲ 4	▲ 10	▲ 6	▲ 20
2016年	▲ 8	▲ 16	▲ 10	▲ 34
2017年	▲ 27	▲ 15	▲ 6	▲ 48
2018年	3	▲ 7	▲ 12	▲ 16
2019年	▲ 17	▲ 4	▲ 3	▲ 24
2020年	▲ 15	▲ 9	▲ 4	▲ 28
2021年	▲ 9	▲ 4	0	▲ 13
2022年	▲ 3	▲ 13	▲ 8	▲ 24
2023年	▲ 10	▲ 6	▲ 5	▲ 21

転出超過（女）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2015年	▲ 1	1	▲ 10	▲ 10
2016年	▲ 3	1	▲ 8	▲ 10
2017年	▲ 34	▲ 18	▲ 12	▲ 64
2018年	9	1	▲ 10	0
2019年	▲ 1	▲ 13	▲ 6	▲ 20
2020年	▲ 2	▲ 16	▲ 8	▲ 26
2021年	▲ 9	▲ 16	▲ 10	▲ 35
2022年	▲ 4	▲ 10	▲ 9	▲ 23
2023年	▲ 10	▲ 14	▲ 9	▲ 33

- ・年少人口における5歳階級別の転入・転出の推移より、転出超過を把握します。

(分析結果)

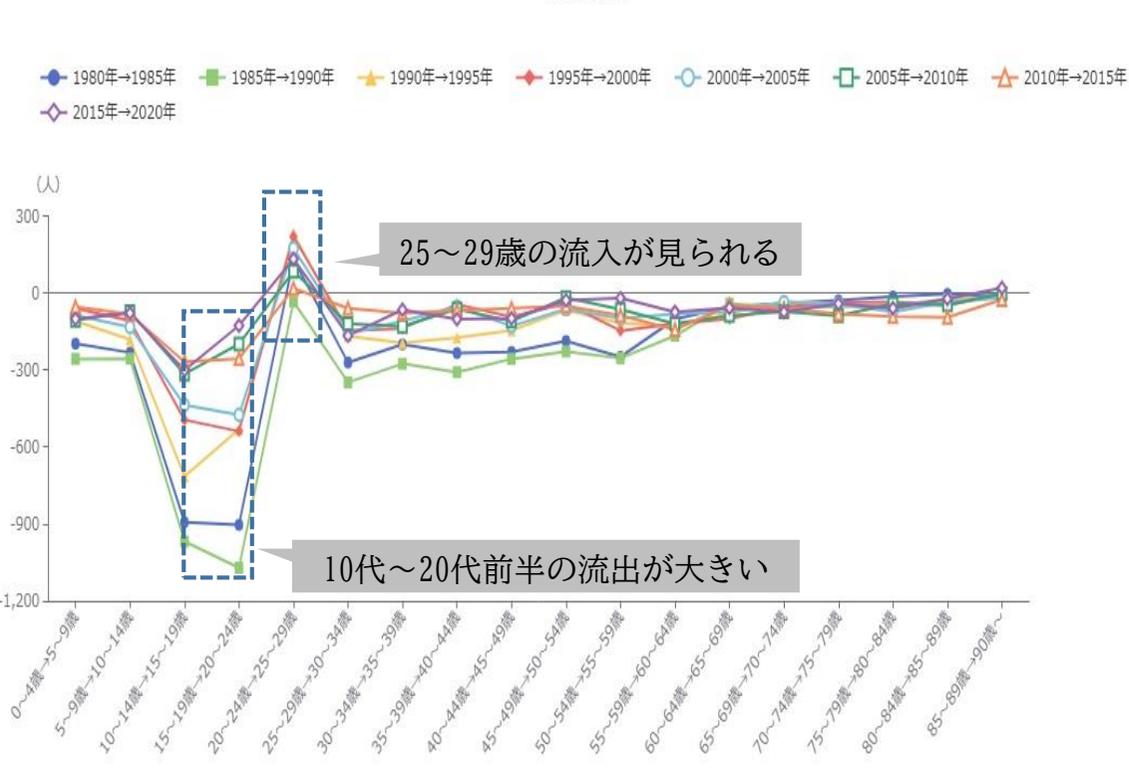
- 2023年は、男女共に転出超過の状況にあります。
- 2023年は、男女ともに転入者が前年を下回っており、特に女性については、前年に比べ半減しています。
- 年少人口の減少は、家族での転出（2023年転出超過▲54人）による影響が考えられます。

年齢階級別純移動数の時系列分析

データ

RESAS（経済産業省、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局提供データ）※2024.11.30現在で1980～2020年までの公表

年齢階級別純移動数の時系列分析
北海道根室市



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

基礎知識

年齢階級別純移動数：5歳階級毎に、その階級の人口を5年後の人口から差し引いて得られる純移動数を指します。

分析の視点

- 人口変化の一因である社会増減の背景としてどの年代が多く転入し、転出しているのかを分析することで、転入を促進すべき、または転出を抑止すべき年代を把握します。

(一般的な転出入の理由)

- ✓15～19歳 → 20～24歳の増減
大学・専門学校等の進学を契機とした転出入
- ✓20～24歳 → 25～29歳：就職を契機とした転出入
- ✓60～64歳 → 65～69歳：
退職に伴う転入出、老後の健康、介護を見据えた転出入

(分析結果)

- 10代から20代前半の人口が大きく流出しているほか、25歳から29歳までの人口の流入が見られます。
- ただし、25歳から29歳の流入は減少傾向にあり、10代～20代前半の流出を埋め合わせられない傾向が続いています。
- 全体的に転出超過にありますが、20歳台後半のみ流入がみられ、内訳として公共サービスに関する職業（市役所、振興局、教職員、自衛隊、海上保安など）に就いている方が約7割を占めていると見込まれます。
- 30～60歳未満の転入・転出数は一定数で推移しています。

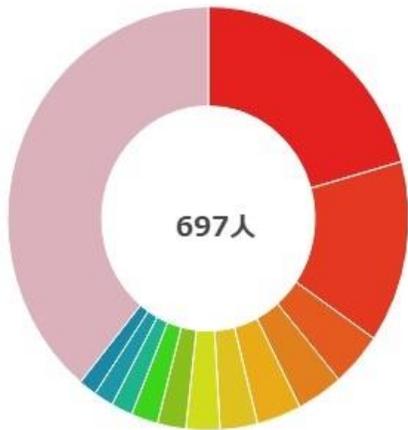
From-to分析（定住人口）

データ(日本人のみ)

From-To分析（定住人口）
北海道 根室市
2023年

転入数内訳

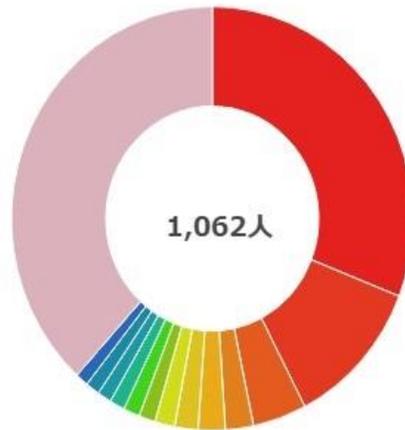
総数 総数



- 1位 北海道札幌市 144人 (20.66%)
- 2位 北海道釧路市 97人 (13.92%)
- 3位 北海道中標津町 29人 (4.16%)
- 4位 北海道別海町 26人 (3.73%)
- 5位 北海道音更町 25人 (3.59%)
- 6位 北海道帯広市 21人 (3.01%)
- 7位 北海道旭川市 19人 (2.73%)
- 8位 大阪府大阪市 16人 (2.30%)
- 9位 北海道苫小牧市 15人 (2.15%)
- 10位 北海道函館市 12人 (1.72%)

転出数内訳

総数 総数



- 1位 北海道札幌市 329人 (30.98%)
- 2位 北海道釧路市 121人 (11.39%)
- 3位 北海道中標津町 46人 (4.33%)
- 4位 北海道網走市 24人 (2.26%)
- 5位 北海道帯広市 23人 (2.17%)
- 6位 北海道別海町 20人 (1.88%)
- 7位 北海道旭川市 17人 (1.60%)
- 8位 北海道江別市 14人 (1.32%)
- 9位 北海道釧路町 14人 (1.32%)
- 10位 北海道千歳市 13人 (1.22%)

分析の視点

- ・人口変化の一因である社会増減の背景として、転入・転出先の上位となっている地域の傾向を把握します。

(分析結果)

- ✓ 転出先：①道内の都市規模の大きい札幌市への転出
②近隣の釧路市への転出
- ✓ 転入元：①道内の都市規模の大きい札幌市からの転入
②近隣の釧路市からの転入
- 転入総数より転出総数の方が多いことから転出超過となっています。
- 転入・転出先とも札幌市および釧路市との間での移動が多くなっています。

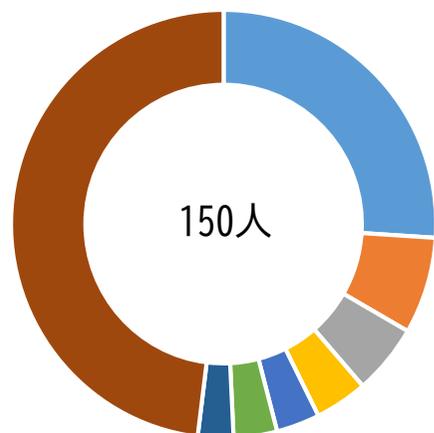
基礎知識

- ・総務省「住民基本台帳人口移動報告」には、外国人の転入・転出者のうち、国外⇄国内の移動者は含まないため、6ページの転入・転出者数と一致しません。

From-to分析（定住人口） - 男女20歳台

データ

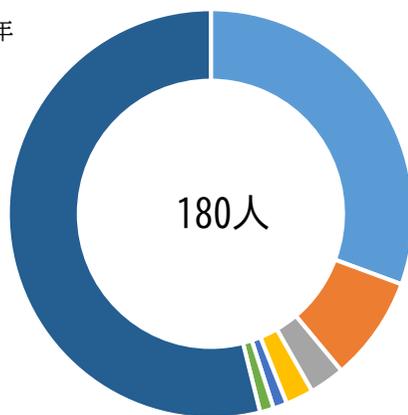
主な転入元
男性 20歳台



- 札幌市 39人 26.0%
- 釧路市 11人 7.3%
- 帯広市 8人 5.3%
- 別海町 6人 4.0%
- 旭川市 5人 3.3%
- 中標津町 5人 3.3%
- 苫小牧市 4人 2.7%
- その他 72人 48.0%

北海道根室市
2023年

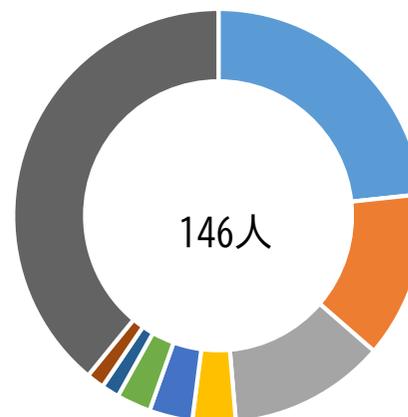
主な転出先
男性 20歳台



▲30人

- 札幌市 55人 30.6%
- 釧路市 15人 8.3%
- 中標津町 5人 2.8%
- 別海町 4人 2.2%
- 旭川市 2人 1.1%
- 神奈川県横浜市 2人 1.1%
- その他 97人 53.9%

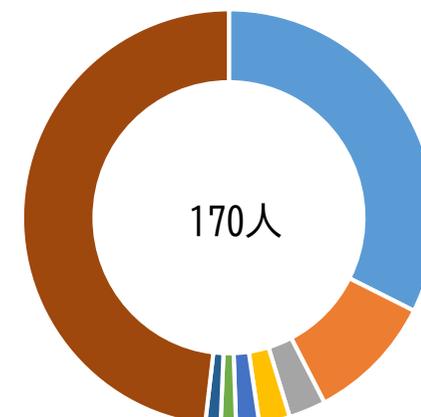
主な転入元
女性 20歳台



- 釧路市 34人 23.3%
- 札幌市 19人 13.0%
- 音更町 18人 12.3%
- 別海町 5人 3.4%
- 大阪府大阪市 5人 3.4%
- 中標津町 4人 2.7%
- 帯広市 2人 1.4%
- 苫小牧市 2人 1.4%
- その他 57人 39.0%

北海道根室市
2023年

主な転出先
女性 20歳台



▲24人

- 札幌市 55人 32.4%
- 釧路市 17人 10.0%
- 神奈川県横浜市 5人 2.9%
- 中標津町 4人 2.4%
- 旭川市 3人 1.8%
- 帯広市 2人 1.2%
- 別海町 2人 1.2%
- その他 82人 48.2%

【出典】RESAS

分析の視点

- 9ページの[年齢階級別純移動数の時系列分析](#)の分析結果を踏まえ、転入・転出の多い年代について、どの年代・性別がどの地域へ多く転入・転出しているのかを分析することで、転入を促進すべき、または転出を抑止すべき年代・属性を把握します。

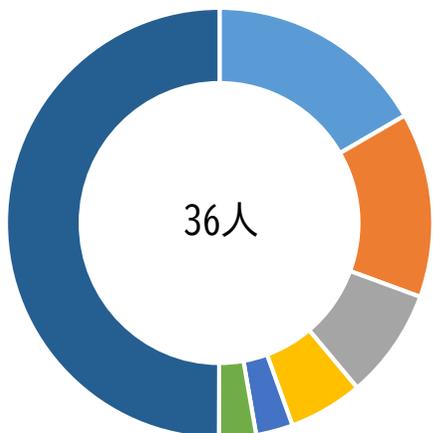
(分析結果)

- 男性の転出超過が大きい地域は、札幌市（転入39人－転出55人＝▲16人、転出超過30人に対し53.3%）
- 女性の転出超過が大きい地域は、札幌市（転入19人－転出55人＝▲36人、転出超過24人に対し150.0%）

From-to分析（定住人口） - 男女20歳未満

データ

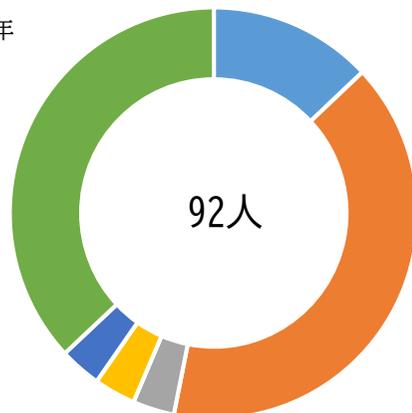
主な転入元
男性 20歳未満



- 釧路市 6人 16.7%
- 札幌市 5人 13.9%
- 中標津町 3人 8.3%
- 旭川市 2人 5.6%
- 函館市 1人 2.8%
- 帯広市 1人 2.8%
- その他 18人 50.0%

北海道根室市
2023年

主な転出先
男性 20歳未満

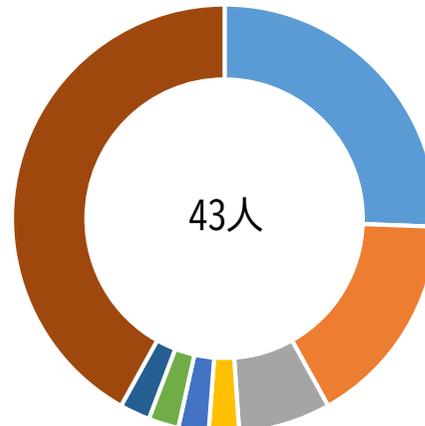


- 釧路市 12人 13.0%
- 札幌市 37人 40.2%
- 江別市 3人 3.3%
- 小樽市 3人 3.3%
- 中標津町 3人 3.3%
- その他 34人 37.0%



▲56人

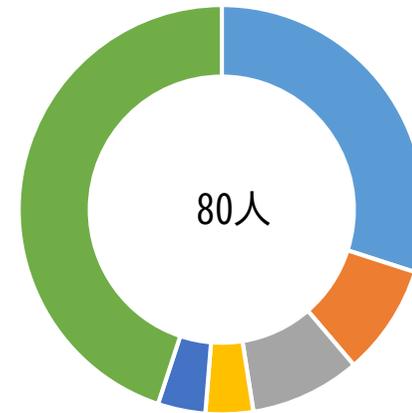
主な転入元
女性 20歳未満



- 釧路市 11人 25.6%
- 大阪府大阪市 7人 16.3%
- 札幌市 3人 7.0%
- 網走市 1人 2.3%
- 別海町 1人 2.3%
- 帯広市 1人 2.3%
- 中標津町 1人 2.3%
- その他 18人 41.9%

北海道根室市
2023年

主な転出先
女性 20歳未満



- 札幌市 24人 30.0%
- 中標津町 7人 8.8%
- 釧路市 7人 8.8%
- 別海町 3人 3.8%
- 帯広市 3人 3.8%
- その他 36人 45.0%



▲37人

【出典】RESAS

分析の視点

- ・9ページの[年齢階級別純移動数の時系列分析](#)の分析結果を踏まえ、転入・転出の多い年代について、どの年代・性別がどの地域へ多く転入・転出しているのかを分析することで、転入を促進すべき、または転出を抑止すべき年代・属性を把握します。

(分析結果)

- 男性の転出超過が大きい地域は札幌市（転入5人－転出37人＝▲32人、転出超過56人に対し53.7%）です。
- 女性の転出超過が大きい地域は札幌市（転入3人－転出24人＝▲21人、転出超過37人に対し56.7%）です。

人口動態分析のまとめ

分析結果

人口増減

- 2018-19年と400人台で推移していた人口減少幅は、2020年は599人、2021年は627人、2022年は685人と増加傾向にありますが、**2023年(540人)**は昨年と比較すると減少傾向にあります。【P1_人口推移(人口・世帯数)】
- 2021年から女性の流出者が男性の流出者を上回っていますが、男女比率は2015年から男性が約47.8%、女性が約52.2%と横ばいが続いています。【P1_人口推移(人口・世帯数)】
- 老年人口は2019年まで継続的に増加も、その後は減少傾向へ転じています。【P2_人口推移(年齢3区分別)】
- 生産年齢人口と年少人口が老年人口の減少ペースを上回っているため、高齢化率が上昇しています。【P2_人口推移(年齢3区分別)】

自然増減

- 年々、出生数が減少傾向、死亡者数が増加傾向にあり、自然減が増加傾向にあります。【P4_自然増減(人口動態)】
- 出生数の減少については、合計特殊出生率の算定基礎となる15~49歳の女性の減少の影響も考えられます。【P3_人口ピラミッド】(2023年の女性人口 3,556人 - 2015年の女性人口 4,905人 = ▲1,349人)
- **2023年は、前年に比べ**出生数は**4人増加**し、死亡者数は**43人減少**しています。【P4_自然増減(人口動態)】

社会増減

- 総人口での転出超過は、**2023年**は前年と比較し改善しています。【P5_人口増減(年齢3区分別分析)】
- **2023年**は前年に比べ、男性の転入・転出者ともに減少し、転出超過は前年よりも減少しましたが、全ての年代において転入者が転出者を下回っています。
- 一方、女性についても、男性同様、転入・転出者ともに減少し、転出超過は前年よりも減少しています。
- また、2023年の女性の転出については、35歳~39歳の女性の転出者が前年よりも減少しています。【P7_人口増減(生産年齢人口分析)】
- **2023年**の転出超過数を見ると男女ともに札幌市へ転出超過が多くなっています。【P11_From-to分析(定住人口)】

以下参考資料

【年齢別人口（合計）】

（単位：人）

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024.10
0～4	947	916	846	809	755	674	631	581	549	499
5～9	1,004	950	878	872	848	855	812	777	710	656
10～14	1,157	1,081	1,069	1,019	989	916	857	807	797	748
15～19	1,207	1,188	1,107	1,073	1,044	997	955	965	936	923
20～24	1,182	1,162	1,170	1,137	1,064	1,020	980	920	943	1,034
25～29	1,259	1,238	1,229	1,169	1,161	1,157	1,146	1,083	1,037	1,013
30～34	1,351	1,267	1,181	1,162	1,129	1,062	1,080	1,057	1,041	999
35～39	1,522	1,457	1,366	1,289	1,284	1,251	1,186	1,132	1,081	1,024
40～44	1,844	1,748	1,682	1,617	1,488	1,383	1,332	1,252	1,178	1,161
45～49	1,813	1,823	1,758	1,715	1,706	1,681	1,607	1,546	1,473	1,397
50～54	1,880	1,803	1,809	1,812	1,753	1,710	1,711	1,674	1,622	1,627
55～59	1,843	1,850	1,832	1,857	1,835	1,804	1,710	1,705	1,704	1,633
60～64	2,183	2,023	1,881	1,763	1,711	1,710	1,721	1,699	1,717	1,713
65～69	2,326	2,361	2,395	2,293	2,188	2,031	1,882	1,751	1,645	1,599
70～74	1,952	1,889	1,832	1,882	1,964	2,096	2,110	2,146	2,072	1,979
75～79	1,766	1,790	1,774	1,803	1,792	1,708	1,645	1,605	1,625	1,699
80～84	1,246	1,324	1,396	1,421	1,396	1,419	1,458	1,412	1,424	1,397
85～89	762	740	766	796	839	862	899	927	939	923
90～94	285	316	322	351	395	404	386	385	374	398
95～99	89	84	98	102	102	98	105	103	120	126
100～	11	8	8	11	14	20	18	19	19	16
合計	27,629	27,018	26,399	25,953	25,457	24,858	24,231	23,546	23,006	22,564

増減数

2023/2022	2024/2023
▲ 32	▲ 50
▲ 67	▲ 54
▲ 10	▲ 49
▲ 29	▲ 13
23	91
▲ 46	▲ 24
▲ 16	▲ 42
▲ 51	▲ 57
▲ 74	▲ 17
▲ 73	▲ 76
▲ 52	5
▲ 1	▲ 71
18	▲ 4
▲ 106	▲ 46
▲ 74	▲ 93
20	74
12	▲ 27
12	▲ 16
▲ 11	24
17	6
0	▲ 3
▲ 540	▲ 442

【月別人口推移】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2015年	28,043	27,989	27,822	27,816	27,815	27,765	27,757	27,715	27,688	27,669	27,633	27,629
2016年	27,613	27,545	27,290	27,267	27,272	27,255	27,213	27,143	27,109	27,075	27,046	27,018
2017年	27,007	26,971	26,712	26,697	26,676	26,648	26,591	26,522	26,526	26,465	26,435	26,399
2018年	26,367	26,304	26,156	26,123	26,136	26,098	26,135	26,087	26,030	25,973	25,947	25,953
2019年	25,955	25,888	25,735	25,683	25,653	25,596	25,643	25,604	25,552	25,521	25,488	25,457
2020年	25,425	25,404	25,164	25,183	25,156	25,070	25,052	25,011	24,958	24,912	24,873	24,858
2021年	24,835	24,825	24,594	24,591	24,539	24,490	24,459	24,402	24,347	24,311	24,284	24,231
2022年	24,163	24,081	23,793	23,829	23,810	23,774	23,739	23,699	23,667	23,654	23,629	23,546
2023年	23,443	23,391	23,140	23,142	23,105	23,111	23,144	23,152	23,148	23,135	23,073	23,006
2024年10月	22,924	22,882	22,650	22,649	22,652	22,651	22,637	22,632	22,587	22,564		

出典：根室市住民基本台帳（市民課）